

<義肢装具体験イベント> 報告書

開催日 2024年 7月 14日 (日)

2024年7月14日(日)11:00~15:00に、埼玉県さいたま市浦和区にある埼玉会館 第2展示室にて、第30回日本義肢装具士協会学術大会の一般公開プログラムとして義肢装具体験イベントが開催されました。

学術大会にて同イベントを行うのは2015年東京大会以来となりましたが、当時の資料もあり円滑に運営を行えました。

会場が広がったため、5つのブースを設置しましたが、スペースに余裕もあり円滑に作業ができました。来場された方々は、義肢装具のユーザーやその家族、近隣の学校の生徒、養成校の学生スタッフが多かった印象です。

事前準備では、イベントチラシを作成し、近隣の公共施設や学校に配布して一人でも多くの方々に参加して頂けるよう案内をしました。そのかいあって、とても多くの方々にご参加頂く事ができました。

以下に体験イベントの概要を説明します。

義足装着体験

来場者にケガを負わせないように、体験者の両脇にスタッフが必ず付いて行いました。

また、その際に義肢ユーザーからアドバイスもしていただき、単に模擬義足体験をするより理解を深められたのではないかと思います。

足部の機能を体験できる両足に付けるタイプのもものと、片足の膝を曲げて付け、股の動きで操作するものの2つの模擬義足を用意しました。

なかなかバランスをとって歩くのは難しく、義足ユーザーの気持ちが少し理解できたと多くの体験者が言われてました。



義足装着体験の様子

装具装着体験

用意した沢山の装具の中から、希望するものを手足や体に直接装着し、装着感を確認しました。

体験された方の中には、実際の患者さんもおられ、装着してみて作るかどうかを決めるとおっしゃってました。

家族でいらしていた方々は、最初子供の体につけた後、親御さんが興味をもって色々質問する事が多かったようです。

コルセットを装着した時は、その締め加減に驚いてました。



装具装着体験の様子

筋電義手体験



筋電義手体験の様子

筋電義手とは、手の動きによる筋肉の電気信号を義手の操作に使うものです。

一般の方でも、義手と同じセンサーを使用して義手をコントロールできます。

皆さん興味があったのか、途切れる事なくいつも満員のブースでした。

最近では、youtube等を見た事があり、実際に操作してみたかったという方も多くなりました。

義足組み立て体験



義足組み立て体験の様子

下腿義足を3つの部品に分けて、それを工具を使って組み立てる体験です。

義足はアライメントというバランスからなっているため、ただ組み立てるだけでは歩けるものにはなりません。それを来場者にお知らせして、義足の特徴を知ってもらいました。

ユーザーによって義足の製作方法を変えたり、パーツを選定する必要性があったりなど、普段の業務についても体験を通して伝えることができました。

義肢装具展示



義肢装具展示の様子

展示用の義肢装具を用意し、来場された方達に実際に見てもらいながら説明をしました。展示品に触れていただき、質問にも随時答えました。

展示品にはスポーツ用の義足もあり、来場者はパラリンピックで見た事がある、と興味深々でした。

他にも、装具ユーザーの方は自分の付けている装具以外にも色々な種類がある事を知り、次の作り変えの際に担当者に相談してみようと言われてました。

各学校パンフレット設置および 動画視聴コーナー

来場者に義肢装具養成校を知ってもらう
目的で各養成校のパンフレットを置きました。

また、義肢装具士協会で制作したビデオ動
画を視聴コーナーで流しました。各ブースで
色々と体験した後、休憩スペースとしても利
用してもらいました。

動画を熱心に見る方も数名おり、関心の
高さが伺えました。



動画視聴コーナー

イベントを終えて

今回、2015年東京大会以来の学術大会での体験イベントを行いました。

実際に義肢装具を利用している方や、これから装具を作製する予定の方にも来場いただき、実際に試歩行までして作製の是非まで考えられていた事は、来場者にとっても意義のある企画だったのではないのでしょうか。

体験は好きな物をやっていただく形式でしたが、ルートを決めれば全部やってもらえた事や、女性の参加者も多かったため、女性スタッフがもっと増やせればより安心感があつたかもしれません。

我々「障がい者／パラアスリート／義肢装具士の啓発WG」が主体となってイベントを企画しましたが、外部スタッフの協力もありとても有意義な時間が過ごせたと感じました。

また、新型コロナウイルスが5類に分類されましたがまだまだその感染力は強く、こういったイベントを行う際にも非常に敏感になります。今回消毒キットが足りなかった事を反省点とし、常に意識していきたいと感じました。

これからも啓発活動により、より多くの方々に義肢装具士の魅力を伝えていけたらと思っております。

担当幹事:安部 勉